

水前寺江津湖公園の現況

団体名	主なキーワード／主なキーセンテンス
熊本県立図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江津湖は各時代の憩いの場 ・ 江津湖全体を一帯として考える必要がある ・ 人間活動と自然保護のバランスを取り、共存を図る必要がある（環境と文化の係わりやバランスが大事）
熊本市造園建設業協会 水前寺江津湖公園サービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通じた植物管理や湖面管理等を実施 ・ 江津湖の魅力を楽しんでもらうことや、江津湖を身近に感じてもらうことを目的に、「江津湖ピクニック」や「江津湖みなも祭」、「えづっ子塾」等を実施
熊本県文化協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江津湖の計画について、専門家による検討も大事だが、如何に多くの人に興味や参加意識を持たせるかが重要 ・ 江津湖は色んな意味でのテーマパーク ・ 環境と文化は一つの塊
熊本記念植物採集会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑化フェアでは“水”をテーマにすべき ・ 各団体で自然観察会を実施して、熊本の自然を知ってもらう契機としてみては ・ 公園内に各団体の拠点が集結しているといい
熊本野生生物研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・ カヤネズミ、タヌキ、ティラピア ・ 「自然度が高いゾーン」と「人間活動を行うゾーン」のゾーン分けが必要（人間と野生生物の共存） ・ 江津湖と植物園の境をエコトーンにしてみても
自然観察指導員熊本県連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人が入れなくて見られない「コアゾーン」と活動を行う「観察ゾーン」きちんと分けるべき ・ 外来生物の駆除と在来生物の保護をセットに考えるべき ・ 江津湖を自然回復のシンボルに
日本野鳥の会熊本県支部	<ul style="list-style-type: none"> ・ カモの探鳥会、カワウのねぐら、ササゴイの撒餌漁 ・ 植物があることでそれをエサにする虫も寄ってくる ・ 観察小屋までの経路を隠す必要がある ・ 江津湖の文化も自然あってのもので係わりが深い
水と緑ワーキンググループ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江津湖は“水”が重要で、上流域との係わりや農業とのつながりが大切 ・ 野草の観察会や清掃活動、ヒメバイカモの保全も行っており、水に拘りを持っている